令和６年度第４回
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会　議事録

日　　時：令和７年２月１７日（月）　午後６時００分から午後８時１０分
場　　所：瑞浪市役所西分庁舎１階会議室

出席委員：山内　正雄(委員長)、辻本　紀み子(副委員長)、柴田　洋子、
谷本　陽子、大宮　康一、富田　宏
※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事 務 局：瑞浪市長　水　野　光　二
みずなみ未来部長　正　木　英　二
市民協働課長　奥　谷　ひとみ
まちづくり支援係長　中　筬　高　弘
まちづくり支援係　大　髙　まりあ

日　　程：
１　あいさつ
２　審査会進行等についての説明
３　ステップアップ事業審査
４　市民活動補助金事業審査
５　市民活動補助金事業審査（令和６年度追加分）
６　全体講評
７　事務連絡
８　閉会

【１．あいさつ】
＜市長あいさつ＞
本日は、大変寒い中、令和６年度第４回瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会にご出席いただきありがとうございます。瑞浪市は課題に対する新しい取り組みを模索しています。その取り組みの１つといたしまして、日本ガイシから企業版ふるさと納税でいただいた２，０００万円を活用し、未来と自然プロジェクト研究会を立ち上げました。研究員を公募したところ各企業から手を挙げていただき、最終的な選考により８名の研究員が決定しました。研究員の中にはＪＲ東海や日本ガイシの社員の方もいらっしゃり、勤務地は瑞浪、多治見、東京など様々です。瑞浪市からも職員２名が参加し、合計１０名の参加となりました。約８カ月間、１９回のカリキュラムを受講し、フィールドワークやディスカッションを行っていただきました。１人１つずつ事業を考え、１月３１日に最終プレゼンをしていただきました。素晴らしい提案がたくさんあったため、実現していただけることを期待しています。市職員からも、瑞浪市の課

題を踏まえた、課題解消のための具体的かつわかりやすい提案があり、まちづくりの推進組織の方にも発表を聞いていただきました。今後のまちづくりの見直し提案については、すぐにとりかかれる部分については取り組み、まちづくり推進協議会や区長会とも連携しながら進めていきたいと思います。
　また、ミライ創ろまい課をはじめとした域学連携にも取り組んでおり、高校生から取り組みの提案をいただきました。提案して終わりではなく、実行し、成果を確認するところまで、高校生自身が取り組んでいます。こういった活動も、まちづくりや市民活動のヒントになると思います。今後は上手く連携をとっていただき、夢ある瑞浪市になるよう、創意工夫した提案を期待しています。審査員の皆様におかれましては、より成果の上がる活動になるよう、ご指導のほどよろしくお願いします。
　本日はステップアップと市民活動補助金の審査となります。忌憚のない意見をお願いいたします。

＜審査委員長あいさつ＞
　本日はステップアップ事業と市民活動補助金事業の計３件の審査を行います。これまで審査会に携わり、市民の皆さんから様々な事業の提案がありました。今回申請されるランタンの事業は目新しい活動です。市民活動と地域の団体が行う事業が両輪で伸びていくと良いと思います。市民活動を育てるような提言やアドバイス、意見を出していただけたらと思います。委員の皆さまには積極的な発言をお願いします。

【２．審査会進行等についての説明】
　≪事務局より説明≫

【３．ステップアップ事業審査】
明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）
●委員
　安全面でライトを設置されるとのことだが、ホタルに影響はないか。
○明世
　ライトは地面に向かって照らすものを購入するため、問題ない。

●委員
　鑑賞会の来場者数目標を３割増としており、高い目標をもって計画されているのが素晴らしい。彩りマーケットとのコラボも大変良い案である。鑑賞会とマーケットを同時に開催されるため、これまで以上にスタッフの動員が必要になると考えられる。また、多くの来場者が夜間のイベントに集まるため、安全面にも気を付けていただきたい。

●委員
　大きなパネルの塗り絵を計画されているが、照明はどうするのか。費用がかかるのではないか。

●委員
　釜戸地区との協力はどのように行うのか。それぞれがチラシ等でＰＲを行う以外に何か計画

していることはあるか。
○明世
　現在、釜戸の集落支援員の方と協力方法を模索している。チラシでお互いをＰＲすることで、瑞浪市全体がホタルのまちというイメージになると良いのではないかと考えている。

●委員
　大きなイベントになることが予想されるが、駐車場はどのように考えているか。
○明世
　鑑賞会場付近の駐車場に加え、市民公園周辺の駐車場を確保している。誘導灯を設置し、幻想的な雰囲気の中を歩いて鑑賞会場まで向かっていただくことを検討している。

●委員
　整備後の維持管理等について、今後の見込みはあるか。
○明世
　過去２回、ステップアップを活用させていただき、今回の工事でハード面の整備は区切りがついたと考えている。今後は、草刈りや後継者の育成、ホタルを育ててもらうための環境や組織をつくる活動が中心になると思われる。

●委員
　カワニナを育て、川に放ち、人工的に増やしたホタルと天然のホタルは根本的に違うものだと考えている。釜戸で天然のホタルが発生していることは素晴らしいことであり、人が手を入れずともホタルが育つ河川をどうやって作っていくかが大切ではないか。ただし、地域活性のために飼育をすることは、ある面では価値のあることだと考える。長期的な計画の中で、そもそも河川をどのようにしていくべきかという議論も深めていただきたい。
　また、瑞浪市内のヘイケボタルの分布や数について、把握していることはあるか。
○明世
　大湫やキャンプ場の跡地ではヒメボタルが出ると聞いているが、詳細は把握していない。ご指摘いただいたように協力関係を築きながら、瑞浪市全体がホタルのまちになっていけるような協議を始めていきたい。ホタル事業を中心となって進めていただいている方の出身地である長野県の辰野町はもともとホタルが全滅するような地域だったが、現在は全国的にも有名なホタルの地となっている。はじめは人工的なカワニナから始め、専門組織がバックアップし、最終的には市が数億円の規模で援助をしたとのことであるが、そこまでになるには時間とお金がかかる。明世のホタルが自然発生するには時間がかかるが、今は基礎固めとしてやっている。自然発生するホタルに少しずつ近付けていきたい。
●委員
　ゲンジボタルとヘイケボタルが同時に発生する河川になれば観察時期が１か月ほど延び、より多くの方に楽しんでいただける。また、これだけ労力とお金をかけて整備されたならば、ホタルだけでなく、生物多様性という考え方を持っていただき、どんな時期でも地域の自然に触れることができる場所にするということも今後視野に入れていただきたい。

＜市長コメント＞
　今回でステップアップの申請は３回目となる。大切な予算を有効活用していただき、事業を拡大されている。明世地区の取り組みにより、他地区でもホタルの活動が広まっている。リーダーシップを発揮していただき、市内全域がホタルのまちとなるよう夢を描いていただきたい。

委員の先生がおっしゃったように、自然にホタルが飛び交うまちになると良い。今後、いかにホタルの里“福”を活用し、広めていくかが大きなポイントとなるため、会長を中心に取り組んでいただきたい。

【４．市民活動補助金事業審査】
ネコタスみずなみ（以下「ネコタス」）
●委員
　テレビで保護猫活動が取り上げられるが、身近に活動している方がいない。今回の説明で大変な活動だと理解できた。費用面でも自己負担が多く、普段から個人の持ち出しで活動されており、大変な活動だと思う。自分が住んでいる地区では野良猫を見ることがないが、瑞浪市内の頭数はどのようか。
〇ネコタス
　上平町で確認できただけで６頭はいる。昨年の１２月には近隣の方からの情報提供により日吉町で３０頭が見つかり、手術はほぼ終えている。住宅街と山の方では状況が違うが、住宅街にも野良猫はいる状況である。

●委員
　不妊手術を終えた猫は地域に帰すということだが、地域の方に迷惑をかけることは減るのか。
〇ネコタス
　フンの被害などはすぐに減るわけではない。ただし、猫は野生動物ではなく、人間と暮らすように変化した動物であり、人が責任をもって世話と管理をしなくてはいけない動物だとされている。協力を得られないこともあるが、議員さんや区長さんにも協力していただき、互いに歩み寄る話し合いを随時行っている。猫が好きで餌をあげている責任上、地元の動物病院に連れていき、１頭あたり３万円ほどの費用を出して手術をしている地域の方もいらっしゃる。一方で、高齢者や一人暮らしの方が猫を寄せてしまう例が多く、費用負担が難しい場合もある。県が地域猫活動の施策を行っており、保健所申請で申請が通れば動物愛護センターにおいて無料で手術を行ってもらえる。手術費用は無料になるものの、捕獲し、連れていく費用は自己負担となり、書類の作成も煩雑である。
　飼い主のいない猫は寿命が長くて５年となるため、少しずつ数は減っていく。繁殖時期に泣かなくなり、喧嘩もしなくなってくる。地域の方で協力して少しでも餌をやればゴミをあさることも少なくなってくる。地域の方との話し合いによって徐々に解決するものと考えている。

●委員
　今後、スタッフを増やして広げながら活動を続けられるのか。

●委員
　殺処分される数は瑞浪市でどのくらいか。
〇ネコタス
　多治見にある東濃保健所管内での数は公開されている。頭数はネットに掲載されている。

●委員
　県の補助金があると記載されているが、申請すれば、県から補助金がもらえるということか。

○ネコタス
　補助金は直接的に団体に入るのではなく、県の補助金による無料の手術が提供されている。

●委員
　寄付やクラウドファンディングを検討されてはどうか。
○ネコタス
　イベント時は募金活動を行っている。今後、さらにアピールしていきたい。

●委員
　環境省の資料において野猫は外来種として扱われており、生態系への深刻な影響を及ぼす生物であり、適切に飼育することが必要である。今回、瑞浪市の補助金を得て事業をされる中で、どこに何頭の猫がいて、どのような計画で地域猫として管理していくのか、また、どれくらいの時間スケールの中で、放し飼いの猫や不妊去勢手術を受けていない猫を全体の何割くらいまで減らしていくのかという計画が必要ではないか。写真などをベースにして、猫の状況を管理すると、努力している結果がわかりやすいのではないか。そうすることで、助成金の意味や効果を多くの方に知っていただけるのではないか。
　また、野猫が野鳥やネズミを食べてしまう場合がある。海外の事例で首輪を工夫することで、野鳥やネズミの被害を減らせるというものがあった記憶がある。猫による生態系への影響を減らす工夫も海外ではなされており、地域の方と共存するとともに、地域の生態系と共存することも大切ではないかと考える。

●委員
　補助金をもらって活動するにあたって、プレゼンではどれだけの市民の方が困っており、どういった実情があるかを伝えていただきたかった。団体の皆さんの苦労は承知しているが、税金を使うべき事業であるかどうか判断するためには、どのような計画で実行していくか、また、将来どういった地域にしたいかを明確にしていただきたい。客観的な事実や計画、効果のアピールを簡潔にしていただきたい。公的なお金を獲得する手法として、そういったことを意識していただくと、活動もより良いものになるのではないか。また、協賛企業の協力を得る場合にも役に立つと考えられる。

　＜市長コメント＞
　大切な活動をしていらっしゃることがよくわかった。市民が安心して暮らせるまちづくりに協力していただけるとありがたい。皆さんに活動を理解していただくためにも、調査等は必要ではないか。多くの賛同者を得ていただきながら、活動を継続し、拡大していただきたい。ぜひ、支援者を増やすためにも計画やビジョンを明確にしていただきたい。

【５．市民活動補助金事業審査（令和６年度追加分）】
有志団体みずなみ盛り上げ隊（以下「みずなみ盛り上げ隊」）
●委員
　素敵な事業のためぜひ成功させていただきたい。コロナ禍のシークレット花火は外出できない中、楽しませていただいた。この企画に関しては、夜間に子どもが行動するため、安全面に配慮していただきたい。
　予算書内にヘリウムガス「7,000×4」とあるが、予算額が 308,000 となっているのはなぜか。

〇みずなみ盛り上げ隊
　子どもたちの安全については、しっかりと配慮して進めていきたい。
　予算書の記述について、正しくは「7,000ℓ×4」であり、単位が抜けていた。お詫びして訂正する。

●委員
　今回の補助金の申請は１２万円と、全体の割合としては少なめだが、あえて申請するのはなぜか。
〇みずなみ盛り上げ隊
　市から提示された令和６年度の補助金の残額が１２万円だったため、今回の申請額となっている。最後まで大切に使わせていただき、ファイナルにふさわしい事業にしたい。

●委員
　参加する小中学生５００名が確定したとのことだが､抽選からもれてしまった子もいるのか。市内の小中学生２，５００名のうち５００名だと５分の１の確率になる。もしそういった子がいるのであれば、なつかしの動画の予算を減らし、ランタンの数を増やすのも一つの手ではないか。
〇みずなみ盛り上げ隊
　抽選はなく、先着順とさせていただいた。１月２４日から募集を開始し、市内の小中学校にチラシを入れ、ＳＮＳでも告知をした。募集を開始した直後の月曜日、火曜日に一気に応募数が増えたため、おそらく瑞浪の方が応募してくださったのではないかと考えている。徐々に申込が減り、数名になった段階で締め切りとなった。紐が絡まず安全に浮かべられるスペースを確保するため、ランタンの数を大幅に増やすことは難しい。

●委員
　入場料１，０００円とされているが、もっと早くに企画し、協賛金を募ることで入場料を無料にすることもできたのではないか。
〇みずなみ盛り上げ隊
　スカイランタンの企画で１，０００円はかなり安い金額となっている。例えば、市内の別の企画では３，５００円を入場料とされている。また、土岐市や春日井市では３００基で開催されており、５００基という数はランタンのイベントとしては大規模である。協賛金がどれだけ集まるか不透明な中で、参加者の方に１，０００円負担していただくこととした。ランタンは持ち帰っていただき、１週間ほどは家でも浮かべて楽しむことができる。ヘリウムガスは徐々に抜けていくが、ランタンは抜けにくい素材のものに徐々に改良されている。

●委員
　ランタンのイベントは台湾などで盛んにやっているイメージがある。長く続けられ、アピールできる１つのイベントにしていただくことも考えていただきたい。

●委員
　５００名の参加者には小中学生以外も含まれているのか｡内訳を明確に示していただきたい。子どもたちをターゲットにするのであれば、３０万円のなつかしの動画の位置づけはどのようか。

○みずなみ盛り上げ隊
　５００基のうち、４２０基は小中学生をメインとした一般募集、８０基は協賛をいただいた企業や個人の方にお渡しする分としている。なつかしの動画はお子さん連れの保護者の方を主なターゲットとして楽しんでいただき、子どもたちにも一緒に見ていただきたい。３０年後、１００周年に向けて思い出を振り返っていただくようなものを企画している。

＜市長コメント＞
　シークレット花火に続いてスカイランタンを企画していただいた。今日まで参加者や寄付を集められ、もう少しで当日を迎える。ぜひ、多くの子どもたちや一緒に参加する保護者の皆さんの記憶に残り、次の周年に向けて思い出に残るようなイベントにしていただきたい。

【６．全体講評】
＜市長コメント＞
　慎重審議ありがとうございました。先生方から適切な指導をいただき、なぜこのような事業を行うのか、課題をはっきりさせ、活動の必要性を訴える組み立てが必要だと感じました。ネコタスみずなみの活動は、殺処分するよりは、不妊去勢手術をして、５年程度でも生きられた方が幸せだと思います。また、貴重な活動に対し、自己資金を投入して活動されているのは大変ご苦労様であると思います。ただし、大切な税金を使って補助金を出すことを審査する場であり、審査員の先生方にきちんと指摘していただくことが、今後の活動にも役に立つのではないかと思います。本日はありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

【７．事務連絡】
≪事務局より説明≫

【８．閉会】
≪みずなみ未来部長より閉会のことば≫

以　　上